

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	妻北地区（3期）都市再生整備計画													
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	西都市													
計画の目標	古代からの歴史文化を活用し、にぎわい交流による地域再生と豊かな住環境を形成するまちづくり ・安心して快適に暮らせる豊かなまちにしていくためのネットワーク整備 ・自然環境の保全と景観に配慮した歴史・文化を活かしたまちとしての魅力づくり ・まちを育み、継承する人材づくり													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		605	A	599	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.99	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27末		R2末
1	記紀の道（逢初川歩行者専用道路）の利用者数を12,932人/年から40,000人/年に増加させる 歩道新設による記紀の道（逢初川歩行者専用道路）の利用者数を計測する	12932人/年	人/年	40000人/年
2	桜川の通行者数を56,210人/年から163,000人/年に増加させる 桜川沿い歩道の通行者数を計測する	56210人/年	人/年	163000人/年
3	住民の当該まちづくりの満足度83%から85%にする 住民アンケートによるまちづくりの満足度調査を実施する	83%	%	85%
4	市民グループによるまちづくり活動について、ボランティア活動等の人数を665人/年から820人/年に増加させる ボランティア活動等の人数を計測する	665人/年	人/年	820人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	西都市	直接	西都市	-	-	都市再生整備計画(妻北 地区(3期))(A-1)	逢初川歩行者専用道路L=330 m等	西都市						599	-	
												小計						599	
											合計						599		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	西都市	直接	西都市	-	-	レンタサイクル社会実験 （C-1）	記紀の道活用レンタサイクル 社会実験	西都市						3	-	
		「1-A-1」と一体的に実施することで、記紀の道の利用促進が図られるとともに、無料巡回バスとの相乗効果も期待され、来訪者の増加による賑わい創出にも寄与する。																	
	C10-002	都市再生	一般	西都市	直接	西都市	-	-	無料巡回バス社会実験（ C-2）	無料巡回バス社会実験	西都市						3	-	
		「1-A-1」と一体的に実施することで、西都原古墳群等からまちなかへの誘導効果が図られるとともに、利用用途の幅が広がり、滞在時間の延長に寄与する。																	
												小計						6	
											合計						6		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

主管課：西都市建設課  
 庁内検討会議（総務課、総合政策課、商工観光課、建築住宅課、農林課、生活環境課、市民課、上下水道課、社会教育課、農業委員会事務局、消防本部、建設課）  
 西都市都市再生整備計画事業評価委員会（学識経験者、妻北地域づくり協議会、建築士会、ボランティア団体）

令和3年度

公表の方法

市のホームページ、建設課窓口

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
 交付対象事業の効果の発現状況

- ・記紀の道や桜川歩行者専用道路線の整備や地域活動等を行ってきた結果、当該まちづくりの満足度が向上した。
- ・記紀の道や桜川歩行者専用道路線の通行者数については、コロナ禍の影響により目標達成には至らなかった。
- ・市民グループによるまちづくり活動については、コロナ禍の影響により目標の計測年度である令和2年度の達成には至らなかったが、交付期間内で目標達成された年度もあることと、令和3年度は目標を達成している。

定量的指標以外の交付対象事業の  
 効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

- ・更なる住民満足度向上のため、住民意見を踏まえた環境整備・地域活動へのサポートを実施し、整備の計画や実施状況の情報発信を強化する。
- ・記紀の道周辺の都市公園等における未完了部分の整備を実施し、回遊性の向上を図る。また、桜川歩行者専用道路線の未整備区間の整備を行い、街なかと連携したイベントの実施や情報発信を強化する。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	記紀の道・逢初川歩行者専用道路の利用者数	
	最終目標値	40000人/年
2	最終実績値	28709人/年
	桜川歩行者専用道路線の通行者数	
3	最終目標値	163000人/年
	最終実績値	39785人/年
4	住民の当該まちづくりの満足度	
	最終目標値	85%
5	最終実績値	89%
	市民グループによるまちづくり活動	
6	最終目標値	820人/年
	最終実績値	257人/年